

こうじ のう きのう しょうがい 高次脳機能障害

なに？ どうしたらいいの？
子どもも大人もイラストで学ぶ病気や障がい

●どんな障害？

びょうき じこ のう きず はたら
病気や事故で脳 [あたま] が大きく傷ついて脳がうまく働かなくなる障害

●どんなことが起きるの？ (症状と経過)

しょうじょう
症状のあらわれ方は、ひとりひとりちがいます
あらわれやすいものをかきます



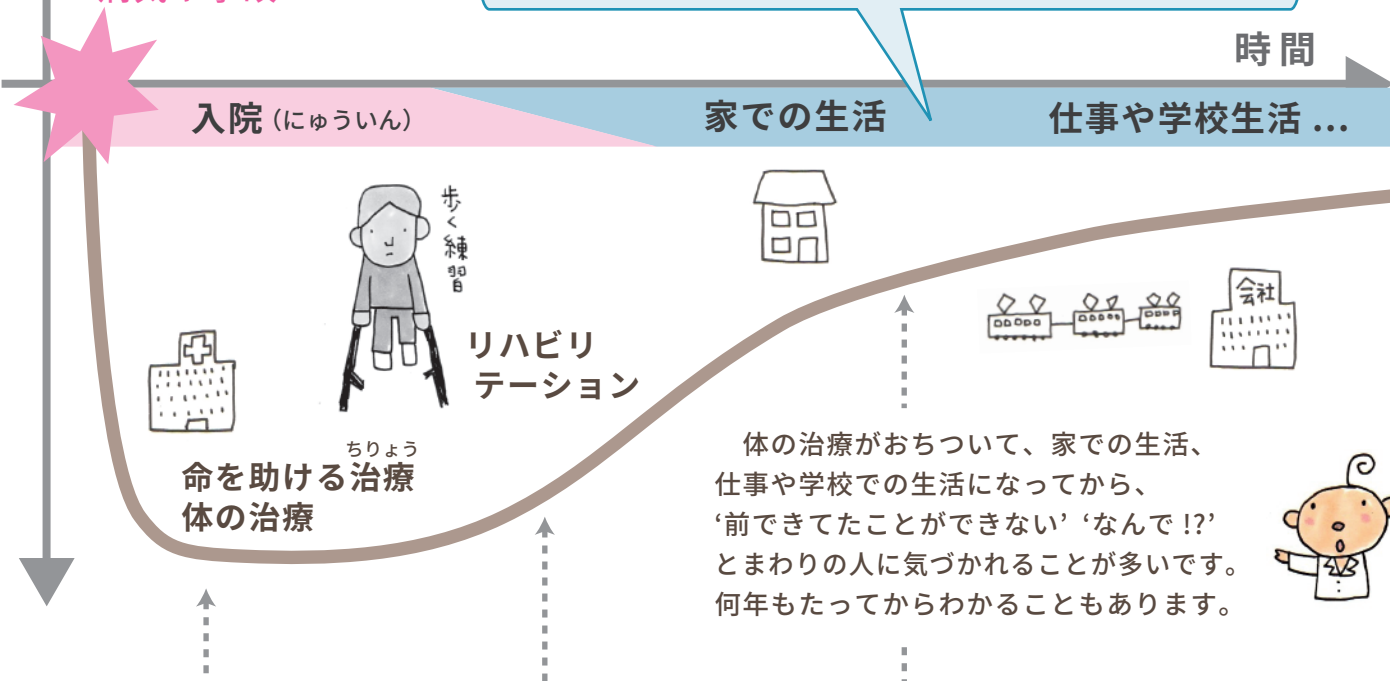
それまでできていたことができなくなります

- さっき話したことも覚えていられない
- 以前のように勉強や仕事に集中できない
- 急に怒りだしたり、泣いたりする
- すぐにつかれてしまう
- 言われないと何もしない (ぼーっとしている)
- 言葉がうまくでてこない
- 近くにある物に、よくぶつかる
- いきあたりばったりの行動になる など

生活する力



脳が大きく傷つく
病気や事故



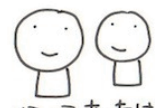
大変 喜び
混乱 「たいへん！」
「命が助かってよかった ...」



期待 不安
「きっと元どおりになる」
「これからどうなるの？」



がっかり 怒り あせり
「できてたことができない！」
「なんで!?’



いろいろあったけど
ご本からもあるけど
大丈夫かも...

●経過の中でいろいろな気持ちを体験します ——どんな気持ちもあっていい


●どんなふうによくなるの？ かぞく ほんにん 家族・本人ができること

たいちょう
○体調をととのえます

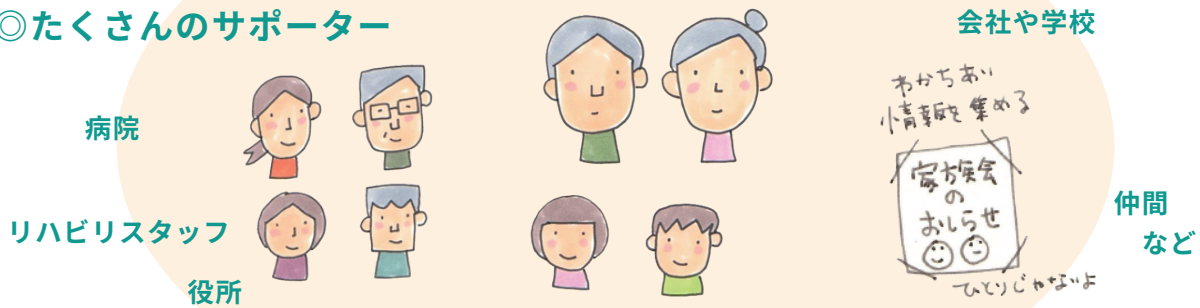
- ・きめられたくすりをのむ
- ・リハビリテーション
- ・日課をきめて生活する など

くふう
○いろいろな工夫を見つけます

- ・カレンダーやメモ、手順表
- ・スマホ、計算機をつかう
- ・ものの置き場所を決めておく など




◎たくさんのサポーター



○生活をととのえます

- ・制度やサービスを活用する
- ・自分で出来ること（役割）を見つけてやってみる など

*病院のケースワーカー  *役所の窓口

○きもちを大事にします

- ・できているところ、よいところを大切にする
- ・ホッとできる時間をもつ
- ・家族会や当事者会で仲間と出会う など

「見えない障害」ともいわれる、わかりづらい障害です。本人が自覚できていないことも多いです。障害についての勉強をしたり、本人の話や様子から、大変さを想像したりすることで、対処方法が見つかることがあります。サポーターもいっしょに、みんなで協力してとりくめるとよいと思います。ひとりでかかえずに！



●障害がある人はどれくらいいるの？

1000 人に 4 人くらい*

*東京都の調査（2008年）をもとに推計
実際には、もっと多いとも言われています

制作：ぷるすあるは／さいたま市障害者更生相談センター

*このシートと、さらによくわかる情報はウェブサイトでも公開中 <http://kidsinfost.net>
子ども情報ステーション by ぷるすあるは > 子どもも大人もイラストで学ぶ『高次脳機能障害』

子ども情報ステーション 高次脳機能障害

検索 